

知仁会だより



理念

- ・私たちは、患者様を身体面・精神面・社会面の三つの軸でトータルに理解し、治療と支援を行います。
- ・私たちは、患者様の権利を尊重し、患者様への接遇やサービスの向上と医療の安全に尽くします。
- ・私たちは、患者様の個人情報保護と企業情報保護に全力で取り組みます。
- ・私たちは、良質で効率的な医療・看護・介護・リハビリ・福祉サービスを目指します。
- ・私たちは、健全な病院経営を行います。
- ・私たちは、知仁会の施設サービス・在宅サービスを通じて一生をあたたくお世話します。
(ターミナルケア実施)
- ・私たちは、地域社会と連携し、地域社会への貢献に努力します。
- ・私たちは、障がい者の人権を擁護し、差別と偏見の解消に努めます。
- ・私たちは、仕事の意義と組織の一員であることを理解し、知仁会に誇りを持ち、より向上するために支え合って働きます。

患者様の権利憲章

- ・個人として、その人格を尊重し、最善の医療を公平かつ安全に受ける権利があります。
- ・病気、検査、治療、リハビリなどについて十分な説明を受ける権利があります。
- ・患者様の個人情報、及びプライバシーは保護されます。
- ・転医、転院等を希望する場合は必要な情報を提供します。また、他の医師の意見を求めたい場合は、他の医療機関への紹介を受ける権利があります。(セカンドオピニオン)
- ・診療情報の開示を推進し医療の透明性の確保に努めます。
- ・良好で快適な療養環境のもとに医療を受ける権利があります。
- ・精神科医療においては、精神保健福祉法に準拠した施行がなされます。
- ・良質な医療を実現するために、患者様ご自身の健康に関する情報を出来る限り正確・迅速に知らせる責務があります。
- ・患者様自身が納得できる診療を受けるために、医療に関する説明についてよく理解できなかったことについて、よく理解できるまで質問をする権利があります。
- ・すべての患者様が快適な環境で医療が受けられるよう、病院内のルールやマナー、職員の指示をお守りいただく義務があります。

新年明けましておめでとうございます。

理事長挨拶

医療法人社団 知仁会 理事長 石井 知行

あけましておめでとうございます。

令和四年の干支は、壬寅で三十九番目、「寅」は十二支の第三にして陽、生命が芽生え始め、季節は春、動物は虎にあてます。白虎は、青龍、朱雀、玄武と共に、四方を守る霊獣とされています。

虎については、「虎の尾を踏む」「虎視眈眈」などの言葉がありますが、いずれも虎の強さに由来した言葉と思われます。私たちも、強い責任感と向上心を持って、患者様・利用者様・ご家族様に信頼していただけるように努力して参りたいと存じますので、本年もよろしくお願いいたします。



知仁会部門別 年頭挨拶

医局

医局長 佐々木 富美子

新年明けましておめでとうございます。

平素より、患者様、御家族様には当院の診療体制に御理解・御協力を頂き大変感謝しております。新型コロナウイルスが登場し、早いもので3回目の冬がやってきました。自粛や感染防止対策の一環としてのマスク着用・手指消毒・換気はもはや日常となってきました。当院では、職員も含め1名もコロナ感染者が出ていないのも患者様やご家族様のご協力のおかげと大変感謝しております。また、昨年秋頃よりWEB面会だけでなく、制限はあるものの直接面会も再開できるようになり患者様・御家族様にご喜んでもらっています。しかしながら、巷では“オミクロン株”の流行が懸念されており心配なところです。当院としては、1月中旬以降より希望される入院患者様に順次3回目の新型コロナワクチン接種を行っていく予定です。内服薬の開発も進んでいるようです。出口が早く見つかればコロナ禍以前の生活に戻れる日を心待ちにするばかりです。それまで職員一丸となり感染対策を行ってまいります。御不自由、御迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが何卒宜しくお願い申し上げます。

地域連携室

社会福祉士 福原 啓司

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

旧年中は、当院地域連携事業に格別の御高配を賜り御礼申し上げます。また、御家族様、関係者様には感染対策等の御理解・御協力を頂きまして感謝申し上げます。令和三年十二月より介護医療院を開設し、更に地域の医療・福祉に貢献すべく、皆様に安心・信頼して御利用いただける病院・施設となりますよう、地域連携室職員一同精進して参ります。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

看護・介護部門

看護師長 宗内 秀子

新年明けましておめでとうございます。

昨年中は新型コロナウイルス感染防止対策にご理解・ご協力いただきましてありがとうございました。患者様、ご家族様の何より楽しみである面会も長期にわたり制限せざるを得ず、ご心配・ご迷惑をお掛けしておりますが、感染状況に応じて感染防止対策を見直しながら対応しているところでございます。今後も患者様、ご家族様の不安、ご心配をやわらげ療養生活が潤いのあるものになるよう寄り添いながら看護・介護を提供してまいります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

薬局

薬剤師 伊藤 潤

新年、明けましておめでとうございます。

旧年中は薬局業務・ワクチン接種に、ご理解とご協力いただき誠にありがとうございました。本年もより一層多職種と協力しつつ、相談しやすい薬局をめざし患者様に安心・安全な薬物療法をご提供できますようスタッフ一同、精進してまいります。皆様にとって穏やかな良い一年になりますように、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

ゆうゆ通所リハビリテーション

サービス提供責任者 林 直美

明けましておめでとうございます。

旧年中は疼痛所リハビリテーションをご支援・ご利用いただきありがとうございました。本人も気をひきしめ感染予防対策を十分に行い、皆様が安心して在宅生活を継続できますように、健康と安全を守り心身機能の維持・改善を図るよう尽力いたします。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

ゆうゆ訪問看護

看護師 武内 弘美

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は大変お世話になりました。

本年も感染対策に取り組み、利用者様へ支援が出来るよう努めて参りますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

ゆうゆ居宅介護支援事業所

管理者（主任ケアマネージャー・主任介護支援専門員）

宮崎 禮子

あけましておめでとうございます。

皆様にはお健やかに新年をお迎えの事と存じます。今年も公正、中立なケアプランを提供する居宅介護支援事業所として精進して参りますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

リハビリ部門

作業療法士 坂田 真吾

新年あけましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。昨年も新型コロナウイルスにより大変な1年となりました。今年も感染症対策に配慮して充実したリハビリプログラムの提供ができるよう努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、大変お世話になりました。本年度も、我々リハビリ職員は感染予防に徹底して、皆様と元気に明るく、はつらつと力をつけていきたいと思っております。どうぞ宜しくお願いします。

新年、明けましておめでとうございます。

昨年中は大変お世話になりました。新型コロナウイルスの影響が続いておりますが、今後も感染対策に充分配慮し、安全にリハビリ業務を行っていきたく思っております。本年もどうぞ宜しくお願い致します。

心理部門

新年明けましておめでとうございます。

昨年も新型コロナウイルスの流行で何かと不自由な生活が続き、心身共に疲労を感じられていた方が多くおられると思います。お一人で悩まれることなく、周囲との繋がりを大切にいただければ、お手伝いさせていただきます。本年も心理科一同、皆様に少しでも安心感をお持ちいただけるよう邁進して参ります。皆様にとって本年がより良い1年になることをお祈りいたします。

栄養部門

新年明けましておめでとうございます。

新型コロナウイルスによる自粛生活期間も長くなり、with コロナの新しいライフスタイルにも慣れてきたように感じます。引き続き感染症対策をしっかり行い、患者様の身体・栄養状態等に対応した食事の提供に栄養課一同全力で取り組んで参りたいと思っております。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

社会復帰部門

明けましておめでとうございます。

皆様には、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、行政機関並びに関係事業所を始め、地域の皆様のご支援を受け賜わり、無事、活動を行うことができましたことを心より感謝申し上げます。昨年末より、コロナウイルス感染症が減少傾向にあり、利用者も増えつつありますが、感染状況を見ながら、徐々に創作活動を中心とした緩やかな対人交流を進めていきたいと考えております。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

事務部門

新年あけましておめでとうございます。

昨年は事務部門では、新卒2名を迎え、より一層フレッシュな顔ぶれとなりました。

今年は、部門として「改善」を目標としました。若い目線がある今こそ、来院者・他部署の方の求めるものを常に対応し、よりよくしていきたいと考えております。

事務業務に関することで気になる事があれば些細なことでも是非事務部門へご相談下さい。

本年もよろしくお願い致します。

広島西部認知症疾患医療・大竹市認知症対応・玖波地区地域包括支援・合併型センター

あけましておめでとうございます。

昨年はコロナ禍に明けコロナ禍に暮れました。コロナ禍により、通所サービス、訪問サービスが利用しづらくなったり、外出も困難となったため、多くの高齢者の方々に影響が広範囲に及びました。本年もオミクロン型が感染拡大しつつあります。アメリカ軍基地を中心として、岩国に大規模な発生が見られていますので油断できません。感染防止に全力をあげながら、こういうときだからこそ、利用者・地域の方々により貢献できるよう努力して参りましょう。

新年明けましておめでとうございます。

新型コロナウイルスの影響による生活様式の変化は依然続いておりますが、当センターとしても外来時の感染症対策にはじまり、認知症カフェの会場設営やWEB研修会の開催等、皆様の御理解、御協力を賜りながら、変わらぬ体制を継続することができました。本年度も皆様の健康な生活の下支えとなることができるよう、センター職員一同邁進して参ります。今年もあたたかい御指導、御鞭撻を心よりお願い申し上げます。

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は包括の活動にご協力くださり、誠にありがとうございました。

今年度は「重層的支援体制整備事業」が本事業となります。

これまで包括は65歳以上の高齢者を対象としておりましたが、令和4年度から高齢者・障がい者・児童・生活困窮に関する全ての相談を市役所・社会福祉協議会・知仁会の3者が事務局となり、知仁会の一員として包括

も関わっていきます。
 これまで以上に“地域共生社会”を意識した取り組みや“互助”が重要となってきます。今後も、住み慣れた地域で、その人らしく暮らす事ができる『地域づくり』に貢献できるよう取り組んで参ります。
 皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈りするとともに、本年も変わらぬご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

介護老人保健施設ゆうゆ

施設長 大島 俊之

明けましておめでとうございます。
 旧年中は介護老人保健施設ゆうゆをご利用くださりましてありがとうございました。昨年も新型コロナウイルス感染症に明け暮れた毎日でしたね。ワクチン接種はかなり進んでいるようですが、オミクロン株が出現したりと未だに心配の種は尽きません。私共ゆうゆ職員は、ゆうゆをご利用くださっている方々に感染防止対策を続けつつ、安全・接遇にも配慮してできるだけ快適に過ごしていただけるよう、今年も努力してまいりたいと思います。
 本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

1月の行事予定

日時	行事名	主催	内容	場所
12日(水) 20日(木)	ワーカー研修会	教育委員会 倫理委員会 虐待防止対策委員会	本館4階が担当となり、「幻覚妄想について」というテーマで研修を行いました。	メープルホール
27日(木)	知仁会研修会	教育委員会	介護老人保健施設 施設長 大島俊之医師が講師となり、「禁煙教育」というテーマで研修を行いました。	メープルホール
5日(水) 19日(水)	摂食機能専門職	S T部門 医療安全管理委員会	新入職員・未受講者対象	メープルホール
-	摂食機能専門職	S T部門 医療安全管理委員会	「修了証」更新者対象	-

<第18回知仁会学会優秀賞選考結果報告>

知仁会賞

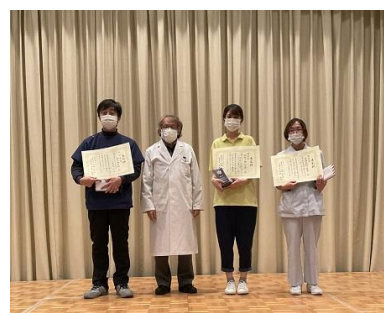
- 演題： 当院における細菌検出の統計解析 第1報
 部署： 臨床検査科 村井克尚 大島よしえ 野中英子

★ 優秀賞 ★

- 演題 認知症患者への歯みがきアプローチ ～楽しく長く歯みがきしよう～
 部署： 新館4階 小笠原麻友美 森崎 茜
- 演題 ユマニチュード技法を取り入れた寄り添いケアの実践 ～わたしの居場所はここにある～
 部署： 別館3階 内山優子 職員一同

今回の知仁会学会の発表はそれぞれ様々なテーマに取り組んでおり非常に粒ぞろいでした。今回、優秀賞は2題が受賞しました。また、数ある演題の中から今回栄えある知仁会賞を受賞したのは臨床検査科となりました。臨床検査科の皆さんおめでとうございます。

今後も各部門研鑽に励み、より良い医療の提供を行えるよう尽力して参ります。



広島県西部認知症疾患医療・大竹市認知症対応・ 玖波地区地域包括支援・合併型センター

認知症に関するお困り事の相談（専門医療相談）
受診のご予約
認知症の診断・治療
認知症初期集中支援チーム

介護保険代行申請
介護予防ケアプランの作成
地域の健康作り・情報発信
認知症カフェ オレンジカフェいこか！ 等

専門医による鑑別診断及び専門外来
月曜日～木・土曜日（金・日祝祭日休み）
9：30～12：00（※予約制）

電話相談・受診のご予約
月曜日～土曜日（日祝祭日休み）
8：30～17：30

☎ 0827-57-7461（直通）

認知症カフェ オレンジカフェ いこか！を開催しました！



令和3年12月24日（金）14：00～ コミュニティサロン玖波にて、認知症カフェ オレンジカフェ いこか！を開催しました。今回はクリスマス 特別企画として、心理士によるじゃんけん体操と脳トレゲームを行いました。じゃんけん体操とは、右手、左手を交互に前に突き出すという簡単な動きではありますが、突き出したたり戻したりする際に、左右で異なるじゃんけんのポーズをします。例えば、右手を前に突き出し「パー」をした時には、左手は胸元で「グー」にします。次に左手を前に突き出し「グー」、右腕は胸元で「パー」をします。これを繰り返していきますが、慣れてくればスピードを速めて難易度を上げたり、「グー」「パー」だけではなく「チョキ」にすることもできます。空いた時間に座ったままできる体操ですので、是非試してみてください。

脳トレゲームは、漢字の部首が書かれた紙をお渡しし、それらから一つの漢字を作るというものでした。普段見慣れている漢字でも、部首ごとにバラバラになるとなかなかイメージすることが難しくなります。参加されたみなさんも苦戦されていましたが、時間いっぱい考えてくださいました。ゲーム終了後には、座談会の時間も設けさせていただきました。新型コロナウイルスの影響により昨年度からミニレクチャーを中心としていましたが、感染状況を鑑み、感染対策をした上で、お話をさせていただく時間を作らせていただきました。



人と人のつながりが希薄にならざるを得ない現状ではありますが、地域で過ごされる認知症の方やそのご家族の一助となれるよう、今後もオレンジカフェいこか！の運営をさせていただければと思います。皆様お誘いあわせの上、是非ご参加ください。今後も新型コロナウイルス感染拡大状況を鑑みつつ、適切な時期に最適な方法で実施する方針ですが、状況によっては開催が困難な場合もあります。実施については、当センターまでお問合せください。

※1/21（金）アゼリアおおたけにて開催予定しておりました「あなたの運転は大丈夫？免許返納について考えてみませんか」セミナーについては、オミクロン株感染拡大のため中止となりました。

広島県認知症疾患医療センター合同研修会が行われました。

令和3年12月3日（金）15：30～ WEBにて、広島県認知症疾患医療センター合同研修会が行われました。主な対象は県内にある認知症疾患医療センター職員であり、今回が第1回目の開催でした。

広島大学 公衆衛生学 教授 久保 達彦 先生よりお話しいただいた「災害の多発に対応する福祉体制づくりに向けて」のご講演では、阪神・淡路大震災で得た「防ぎえた災害死」の教訓から、病院前救護の重要性が認識され DMAT が創設、以降、災害現場で救護が行われていることや、全体像把握やデータ化が可能な標準様式「J-SPEED」の運用等について教えていただきました。児玉法律事務所 弁護士 吉益 伸幸 先生には「コロナ禍における人権問題」という内容でご講演いただき、コロナ禍における偏見や差別の実態にはじまり、認知症である人の人権侵害として①高齢者施設等における感染発生への備えの不足②サービス利用についての差別③過剰な行動制限等があり、常に一つの行為による侵害と利益との利益衡量を行う必要性について教えていただきました。

災害、人権という異なる視点からのご講演内容でしたが、人としての尊厳や命を守る上での大変重要な教訓や考え方を教えていただき、とても実りの多い研修会になりました。

認知症予防と栄養

メープルヒル病院 非常勤医師 石井 伸弥

皆さん、こんにちは。認知症疾患医療センターで月曜日、火曜日の外来を担当しております石井伸弥です。

私はよく尋ねられることがあるのですが、脳に良い、認知症予防に効く食べ物にはどのようなものがあると思いますか？ ココナッツミルクでしょうか？ お茶に含まれるカテキンやカレーのスパイスであるクルクミン、米ぬかに含まれるフェルラ酸など、抗酸化作用があると言われるポリフェノールでしょうか？

実はこうした「認知症予防に効く」と言われる食べ物の中で、医学的に効果が証明されたものはほとんどありません。こうした食べ物について、医学的な証拠（エビデンス）として持ち出されるものは大きく分けて二つあり、一つは動物実験。動物に与えたら認知機能が改善した（例えばその動物が迷路を通り抜ける時間が短くなった）などです。もう一つは観察研究。〇〇を多く食べている人は数年後認知症になる危険性が低かった、などです。これらは非常にもっともらしく聞こえますが、残念ながら医学的な証拠としては信頼性が低いとされています。信頼性が高いエビデンスとしては、大勢の人を集め、その〇〇を食べ続けるグループと食べないグループに無作為に割り付け、その後、認知症の発症に差があるかどうかを調べる無作為割付介入研究と呼ばれる研究になります。そして、こうした研究が認知症予防についてきちんと（このきちんと、というのが実際はかなり大変です）実施されている食べ物はあまりありません。

では、認知症予防のためにはどのような食事を取ればよいのでしょうか？

これに関しては WHO が信頼性が高い医学的な証拠をまとめ、それに基づいて推奨を示したガイドラインを作成しているので、それを紹介したいと思います。（私はこのガイドライン作成グループの一人でした。）

なお、このガイドラインについては、認知症に関係する学会からの専門家達が日本語訳を作成しており、ネット上で公開されています。栄養以外、例えば運動や社会活動についても扱っているので、興味があれば是非読んでみて下さい。

https://www.jri.co.jp/MediaLibrary/file/column/opinion/detail/20200410_theme_t22.pdf

このガイドラインによると、認知症予防として推奨される食事として地中海食が挙げられています。これは地中海沿岸諸国の食習慣で、豊富な果物や野菜、乳製品や肉よりも魚を多めに使う、オリーブオイル、ナッツ、豆類、全粒粉など未精製の穀物を使うなどの特徴があります。

もう一つ、このガイドラインで示されているのがサプリです。なんと、ビタミン B、E、多価不飽和脂肪、複合サプリメントは推奨されない、とされています。推奨される、ではなく、されないです。こうしたサプリはよく売れているようですが、少なくとも現在では、認知症予防を目的として摂ることは医学的な証拠が十分ではないということですね。もちろん、これらのビタミンが不足している人が補充目的に摂ることは必要ですが、ビタミンが足りている健康な人にとっては摂る必要はありません。

いかがでしょうか。認知症予防と栄養について医学的に分かっていることを紹介しました。バランスの取れた食事は認知症予防だけでなく、様々な病気の予防に対しても効果があることが分かっています。心掛けるようにしていきましょう。



★医師のスタッフ数

	常勤医師	非常勤	医師合計数
精神科	6 名	2 名	8 名
内科	4 名	12 名	16 名
放射線科	1 名	0 名	1 名
合計	11 名	14 名	25 名 ※基準数 9 名
歯科	0 名	6 名	6 名

★リハビリのスタッフ数

	リハビリスタッフ数（非常勤）
理学療法士	6 名（4 名）
言語聴覚士	2 名（0 名）
作業療法士	9 名（1 名）
合計	17 名（5 名）※基準数 13 名

★敷地内禁煙について

当院では敷地内での喫煙を健康増進法に従って禁止しています。喫煙につきましては、敷地外の所定の喫煙場所をお願い致します。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

★外来診療担当

認知症疾患医療センターで、もの忘れ外来も実施しております。

	月	火	水	木	金	土
精神科	石井 知行	野見山 敏之	石井 知行	野見山 敏之	河内 英基	岡村 仁
内科	佐々木 雅敏	佐々木 富美子	松尾 行雄	加藤 礼子 茶山 一彰 (第2・第4)		芹川 正浩
歯科	広大医師 第二月曜のみ	広大医師	広大医師	広大医師		
認知症疾患 医療センター	石井 伸弥 (初診)	石井 伸弥 (初診)	河面 憲志	田村 知子		河内 英基

★診療時間：精神科 9:15～12:00・内科 9:30～12:00・歯科 9:15～12:00

認知症疾患医療センター9:30～12:00（予約及び緊急時は午後も診察します。）

★当院外来では、ヘリカルCT、腹部超音波検査を行っています。御希望の方は外来スタッフまでお申し出下さい。

※ヘリカルCT・レントゲン検査は午前中のみになりますのでご注意ください。

★地域連携室のご案内

★入院、退院、在宅サービス、施設見学についてのご相談、また、苦情、お困りごと、その他、ご質問等ございましたら、**地域連携室**までお気軽にご相談下さい。スタッフ一同、プライバシー保護を遵守しておりますので、患者様、ご家族様から知り得た情報は了解なしに第三者に開示されることは決してありません。ご安心してご相談ください。

★地域連携室の主な業務：入院相談・退院相談・入院生活や退院後の生活についてのご相談、医療福祉サービスや制度などのご案内・諸手続の援助等

地域連携室（メープルヒル病院本館1階）0827-57-7451

責任者：地域連携室 福原 啓司

個人情報保護に関する医療法人社団知仁会の基本方針

知仁会は常日頃より患者様・利用者様の視点に立ち、質の高い医療の実現とよりよいサービスの提供を目標として、診療業務を営んでおります。患者様・利用者様の健康状態に応じて迅速に的確な医療を提供させて頂くためには、患者様・利用者様に関する様々な医療情報が必要です。患者様・利用者様と確かな信頼関係を築き上げ、安心して医療サービスを受けて頂くために、患者様・利用者様の個人情報の安全な管理は必須です。知仁会では、下記の基本方針に基づき、医療情報の管理を行い、患者様・利用者様の個人情報保護に厳重な注意を払って参ります。

1. 個人情報保護に関する法律を遵守し、患者様・利用者様の情報を個人情報保護委員会で管理しています。
2. 診療及び病院の運営管理に必要な範囲においてのみ、患者様・利用者様の個人情報を収集しています。
3. 患者様・利用者様の個人情報への不正アクセス、紛失、改竄及び漏洩を防止し、安全対策を実施いたします。
4. 一部、検査等を外部の医療施設等に委託する場合があります。その際に、患者様・利用者様の情報をこれらの施設に知らせる必要のある場合があります。この場合、知仁会では、信頼のおける施設等を選択すると同時に、患者様・利用者様の個人情報が不適切に取り扱われないように契約を取り交わします。
5. 患者様・利用者様が継続的に良い医療を受けられるように、診療に関する情報を、病院、診療所などに提供する場合があります。また、ご本人様、ご家族様に事前に承諾をいただいたうえで、学会や研究等で医療の発展の目的として情報を利用する場合があります。
6. 患者様・利用者様の必要に応じて、診療情報を開示しています。しかし、最良の治療の継続に支障をきたすことが考えられる場合は、開示しないことがあります。
7. 知仁会では、患者様・利用者様の取り違えなどの事故を防ぐため、入院患者様・入所者様氏名を病室・療養室前に掲示しております。ご理解、ご協力をお願いいたします。名札の掲示についてご希望がありましたらお申し出ください。
8. 知仁会では、原則として面会制限は行っておりませんが、面会に関してご本人様、ご家族様の希望がありましたら病棟職員にお申し出ください。



医療法人 社団 知仁会

〒739-0651 広島県大竹市玖波5丁目2番1号

TEL 0827-57-7451

FAX 0827-57-5312

ホームページアドレス <http://tijinkai.or.jp/>



メープルヒル病院

広島県西部認知症疾患医療・大竹市認知症対応・
玖波地区地域包括支援・合併型センター
地域活動支援センターみらい



介護老人保健施設ゆうゆ

ゆうゆ居宅介護支援事業所
ゆうゆ訪問看護
ゆうゆデイケア
訪問リハビリテーション

《アクセス方法》

■ JRご利用

広島駅から玖波駅35分

玖波駅から

バス・タクシー約5分／徒歩約10分

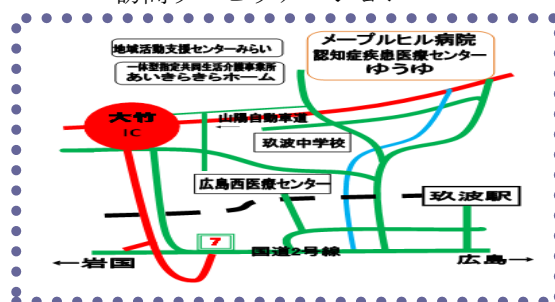
(玖波駅西口から送迎バスを運行しております。

送迎バスは玖波駅発9:30、12:35

となっております。)

■ 山陽自動車道ご利用

大竹インターから約5分



＜患者様へお願い＞

1. ご自身の健康に関する正確な情報をお伝えください。
2. わからないことがありましたら、ご納得いただけるまでご質問ください。

●メープルヒル病院、老人保健施設ゆうゆ、各社会復帰施設の紹介や知仁会から発行する広報誌、毎月の行事一覧、知仁会のサービス案内などを掲載しています。

また、皆様からの質問・相談窓口としてホームページ上にご意見板を用意していますので、知仁会に関する質問や日常生活の様々な悩み・相談、また見学のお問い合わせ等ありましたら、お気軽にお尋ね下さい。

●求人に関する情報もありますので、ご覧下さい。

ホームページアドレス <http://tijinkai.or.jp/>

●本誌に掲載されております写真等につきましては、ご本人あるいはご家族の了承を得て掲載させて頂いております。

●知仁会だよりについてのお問い合わせ、ご意見は担当：福島・横山・濱浦までお寄せ下さい。